

(様式1-3)

福島県(檜葉町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	39	事業名	檜葉中学校武道館環境改善事業	事業番号	(1)-15-3
交付団体	檜葉町	事業実施主体(直接/間接)	直接		
総交付対象事業費	(5,057) 33,873(千円)	全体事業費	(5,057) 33,873(千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>東日本大震災及び原子力災害により、避難生活を余儀なくされたことで、避難先のいわき市において仮設体制での学校運営を行ってきたが、平成27年9月5日において、檜葉町は、約4年半にわたる避難指示の解除を迎え、平成29年4月から町内での学校再開(小中連携校体制)をしている。しかし、児童生徒数は震災前の状況まで回復できていない(平成22年度686名、令和元年度109名)。また、現在、福島県内の小中学校においては、放射性物質が教室内に入り込むことを懸念し、窓を開けて授業を行うことに強く反対する保護者が多く存在している。このため、避難している児童生徒の帰還を促進させるべく、魅力ある安全・安心な教育環境を創出することは不可欠である。</p> <p>檜葉町中学校武道館は小中学校の授業、部活動、地域住民で結成している合気道、剣道等のために活用されており、学校教育や地域コミュニティ施設として重要な役割を担っている。このため、活動を再開した中学校、各団体から再開していくうえで、トイレの洋式化と空調設備の要望があったことと、長期避難に伴い機器の劣化や不良による水流の低下した武道館のトイレを洋式化し、また、夏場等で窓を開けずに授業、部活動等ができるように空調設備を実施することで、設備を施設の利便性の向上や利用者の安心を図り、また、地域に密着した教育施設の機能及び魅力を向上させ、児童生徒・地域住民の帰還促進を図る。</p>					
事業概要					
○檜葉中学校武道館改修工事(和式トイレ6箇所の洋式化、空調設備の設置)					
【平成30年度】					
1. 実施設計業務委託(空調含む): 5,057千円					
【令和元年度】					
1. 改修工事: 28,816千円					
工事内容 トイレ改修、空調設備の設置等					
【檜葉町復興計画(第二次)第二版】					
第三章 復興のための施策					
1. 暮らしやすさを追求する					
1-1) 豊かな教育環境の充実					
(1) 魅力ある小中学校の再生					
①小学校統合も視野に入れた小中連携型の教育環境の整備					
②より魅力ある学習環境の整備					
当面の事業概要					
○檜葉中学校武道館改修工事(和式トイレ6箇所の洋式化、空調設備の設置)					
【平成30年度】					
1. 実施設計業務委託(空調含む): 5,057千円					
【令和元年度】					
1. 改修工事: 28,816千円					

地域の帰還環境整備との関係	
地域住民、保護者とその子ども達が帰還を早期に一人でも多く決断できるような安全安心な教育環境を整備することで、帰還促進につなげていく。	
関連する事業の概要	

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	